

会 議 録 (要旨)

会議の名称	第1回狛江市商業振興プラン策定委員会
開催日時	令和6年7月5日(金曜日) 午後4時00分から午後6時10分
開催場所	狛江市防災センター403会議室
出席者	<p>【委員10名】 渡辺委員長、伊藤副委員長、白井委員、松崎委員、下平委員、吉田委員、絹山委員、櫻井委員、村上委員、片岡委員</p> <p>【事務局5名】 狛江市市民生活部地域活性課 矢野課長、五十嶺係長、石井主任 株式会社シティ・プランニング 橋本、吉田</p>
欠席者	【0名】
会議資料	<p>◆資料1 : 狛江市商業振興プラン策定委員会委員名簿</p> <p>◆資料2 : 狛江市商業振興プラン策定委員会に対する諮問について</p> <p>◆資料3 : 狛江市商業振興プラン策定について</p> <p>◆資料4 : 狛江市商業振興プラン(評価:平成31年度～令和5年度)の事業評価(案)</p> <p>◆資料5 : 消費者アンケート調査 概要・設問設計の考え方</p> <p>◆資料6 : 現行計画時の消費者アンケート調査項目 (参考資料)他計画における商業振興に関する調査項目について</p> <p>◆資料7 : 現行プランの事業評価及び消費者アンケート調査項目に関するご意見用紙</p> <p>◆参考資料: 狛江市商業振興プラン策定委員会の設置及び運営に関する規則</p>
議題	<p>(1) 現狛江市商業振興プランの検証について</p> <p>(2) 消費者アンケートの内容検討について</p> <p>(3) 今後の進め方について</p> <p>(4) その他</p>

● 会議事項

(1) 狛江市商業振興プランの検証について	
発言者	会 議 内 容
事務局 事務局	<p>◆資料説明:【資料3】狛江市商業振興プラン策定について</p> <p>◆資料説明:【資料4】狛江市商業振興プラン(評価:平成31年度～令和5年度)の事業評価(案)</p>
委員長	<p>・本日の委員会資料は当日配布のため、各委員においては初見である。そのため、「【資料4】狛江市商業振興プラン(評価:平成31年度～令和5年度)の事業評価(案)」に関する意見があれば、後日、「【資料7】現行プランの事業評価及び消費者アンケート調査項目に関するご意見用紙」に記載し提出いただきたい。なお、現時点において、資料4に関する質問はあるか。</p>

(1) 狛江市商業振興プランの検証について	
発言者	会議内容
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・「【資料4】狛江市商業振興プラン（評価：平成31年度～令和5年度）の事業評価（案）」は、いつ決定するのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現行計画の事業評価は、本日の委員意見及び「【資料7】現行プランの事業評価及び消費者アンケート調査項目に関するご意見用紙」に記載いただいた各委員の意見を反映した事業評価（案）を第2回狛江市商業振興プラン策定委員会で提示する。その後、第2回狛江市商業振興プラン策定委員会でご審議いただき、確定したいと考えている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・この狛江市商業振興プラン策定委員会で審議・承認したものが現行計画の事業評価となる、といったことで良いか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・現行計画の事業評価を、狛江市商業振興プラン策定委員会で審議・承認するという事は、これから新しい狛江市商業振興プランを考えていくにあたり「このような達成状況であれば、これくらいの事業評価となる」といった共通認識を委員が持つことも目的である、ということが良いか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。 ・本日提示した評価基準（案）は、現行計画の全ての事業に対する評価基準となる。この狛江市商業振興プラン策定委員会で承認いただいた評価を踏まえ、新たな狛江市商業振興プランでは、どのような施策が良いのか、事業の継続又は廃止を検討できればと考えている。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・「この部分は現行計画ではできていないため、再度検討が必要である」、「この部分は良くできているがもっと伸ばせるのではないか」、といった視点で考えても良いか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのような視点からも検討いただきたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員が事業評価を検討するにあたり、「C」や「D」の評価がついた事業に着目すれば良いのか。それとも、新しい振興プランに繋げる視点で検討すれば良いのか。 ・「A」評価の事業は良くできているので引き続き継続、「B」評価の事業は改善点がある、といった認識で良いか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大で実施できなかった事業もあるとは思いますが、新型コロナウイルス感染症拡大に関係なく、実施できなかった又は上手くできなかった事業はあるか。 ・「②空き店舗情報の整備と活用促進」では、具体的な取組として「空き店舗情報の整備」と「空き店舗の活用促進」の2つとなっている。「空き店舗情報の整備」では、情報発信は一定程度できたので、事業全体の評価（案）は「C」評価とした。 ・「⑤商店街による空き店舗活用促進【拡充】」では、令和2年度に市内各商店会に空き店舗に関するアンケート調査を実施し、各商店会の実情が把握できたが、具体的な取組ができていないため、事業全体の評価（案）は「D」評価とした。

(1) 狛江市商業振興プランの検証について	
発言者	会議内容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 資料4「初見・理由／課題」の箇所に、「なぜできなかったのか」といった理由を詰めていく必要があると考えている。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 「⑫空き店舗利用促進【新規】」は、②や⑮と関連しているか。 「⑫空き店舗利用促進【新規】」は、空き店舗の利用促進として「家賃補助」や「改修費補助」等を市独自事業として検討する内容となっている。空き店舗に限定するものではないが、令和3年度に「創業支援家賃・改修費補助金」を創設したことで「B」評価とした。ただし、空き店舗に特化した市独自の支援策が実施できていないため、事業全体の評価（案）は「A」ではなく「B」評価とした。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 「⑮商店街による空き店舗活用促進【拡充】」の「各取組の位置付け」では、平成31年度から令和5年度まで全て「実施」と記載されている。「毎年、空き店舗に関する調査を実施している」というように、毎年、何か取組を実施しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 資料4の「各取組の位置付け」は、現行計画の狛江市商業振興プラン実施計画において定めている「検討」「実施」「継続」を転記している。 「⑮商店街による空き店舗活用促進【拡充】」の取組概要では、「空き店舗情報の収集を行う」としているが、毎年の情報収集はできていない。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 「⑮商店街による空き店舗活用促進【拡充】」の「各取組の位置付け」は、「計画上は「実施」する予定であったが毎年実施はできていない」、といったことで良いか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> そのとおりである。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 「⑮商店街による空き店舗活用促進【拡充】」では、令和2年度に空き店舗に関する情報を収集したが、その情報を活用し施策まで繋がらなかったということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 空き店舗に関する情報発信は続けているが、空き店舗の活用として商業者と繋げていく具体的な支援策は、取り組めていない状況である。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 狛江市では、まちづくり会社「一般社団法人狛江まちみらいラボ」が設立されている。市の商業振興と密接に関係してくると思うが、現在、行政と会社の連携はどうなっているのか。また、商業振興において「一般社団法人狛江まちみらいラボ」は、どのような位置付けか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり会社「一般社団法人狛江まちみらいラボ」は、令和5年10月に設立したため、現行計画策定時には行政と係わる段階ではなかった。また、現時点においても、そこまで深く関わっていない状況である。しかし、次期計画では関係性が深まっていくと考えている。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 本日の会議において、まちづくり会社関係者が出席していない。市の商業振興施策に関して、まちづくり会社と何か線引きをしているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 線引きはしていない。今後、関連する事業者の情報や商業振興に関する意見を伺う等関係を深め、情報共有を行っていく。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり会社と連携は取れる、といったことで良いか。

(1) 狛江市商業振興プランの検証について	
発言者	会議内容
事務局 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。 ・資料4「各取組の位置付け」における「実施」と「継続」は、どのような意味で使っているのか。「実施」及び「継続」はあくまで計画上の位置付けであり、実績や事業評価とはあまり関係していないように思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「実施」は本プランでの実施を意味し、「継続」は前プランから踏襲して実施している事業を指す。意味合いで事業評価に直接結びつくものではない。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・「⑩コミュニティビジネス等の支援【新規】」の「各取組の位置付け」では、平成31年度から令和2年度では「検討」、令和3年度から令和5年度までは「実施」と計画していた。しかし、平成31年度から「女性のための働き方セミナー」を実施できたため、計画よりも早期に事業実施ができたことを評価し「A」評価としている。 ・資料4「各取組の位置付け」における「継続」は、現行計画の前から実施している事業という認識で良いか。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。 ・資料の補足となるが、現行計画の実績は「関連する数値」の記載内容となる。各委員においては、資料4の「各取組の位置付け」と「関連する数値」を見比べていただき、事務局が提示したの事業評価（案）に関する意見を伺いたい。また、事業評価の検討にあたっては、事務局でまとめた「所見・理由／課題」の記載内容を参考にしつつ考えていただきたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度に「検討」「実施」となっている事業は、平成31年度から「検討」及び「実施」を始めた事業という認識で良いか。
事務局 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。 ・事業評価の検討では、例えば「①商品開発の支援」は、現行計画前から継続して実施しているが、実績数が少ないため、今後、「引き続き実施」又は「取組内容の再検討」といったことを考えれば良いのか。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そのような視点でも検討いただきたい。 ・「①商品開発の支援」において、現行計画前に実施していた「研究開発資金融資あっ旋制度」では、融資あっ旋決定数0件で「C」評価であった。しかし、現行計画では、融資あっ旋決定数2件で「C」評価となっている。平成31年度より前から実施している事業については、平成26年度からの実績を考慮して、現行計画の事業評価を検討する必要がある。 ・平成31年度より前から実施している事業については、「平成26年度からの事業について、現行計画ではこのように変えたので、結果こうになった。」といった説明があれば、各委員の理解が進むのではないか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・「②研究開発資金融資あっ旋制度」等、平成31年度より前から実施している事業について、現行計画において事業内容や取組方法を変えた事業はあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「②研究開発資金融資あっ旋制度」に関しては、現行計画において大きな

(1) 狛江市商業振興プランの検証について	
発言者	会議内容
	変更点はない。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 平成 31 年度より前から実施している事業について、現行計画でもあまり効果が見られない事業については、工夫が必要である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 「㊸研究開発資金融資あっ旋制度」について、「融資あっ旋」ではなく「資金の貸付」にしてはどうか。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> 資金貸付は、主体が金融機関となるので、市では実施できない。 「㊸研究開発資金融資あっ旋制度」では、行政が利子額分を補填しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> そのとおりである。「融資あっ旋制度」により融資が実施された場合は、信用保証の補助や利子補給支給を実施している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 「融資あっ旋制度」は、市独自の制度か。又は保証協会の制度か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 狛江市独自の制度である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 商業者がこの制度を利用するには、ハードルが高いのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 商業者からの融資相談件数は多い状況である。また、内容に関しては、運転資金や設備資金に関するものが一番多い。近年では、創業の資金融資に関する相談が増加している状況である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 「研究開発資金」とすると門戸が狭くなるように思う。商業者の使い勝手を良くするために、資金使途や事業名の変更等を検討してはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 検討する。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 資料 4 「評価基準」について、「B＝実施しており一定の効果がある（現状維持）」と記載してあるが、「現状維持」は記載する必要があるのか。「B＝実施しており一定の効果がある」ではいけないのか。「現状維持」又は「拡大」「縮小」については、今後、議論する内容であると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 資料 4 「評価基準」については、現行計画策定時の委員会において「評価基準がぼんやりしているとわかりづらい」といった意見があったことも踏まえて検討し、今回の評価基準（案）では、効果があったかどうかを盛り込んだ。「B＝実施しており一定の効果がある（現状維持）」ではなく、「B＝実施しており一定の効果がある」の方が良いか、委員の方々の意見を伺いたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 現行計画の事業評価として、効果があったかどうかを記載することは良いと思う。「現状維持」については、「効果があるので現状維持とする」と捉えられる可能性もあり、誤解を招く恐れがある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 「B＝実施しており一定の効果がある（現状維持）」は、「B＝実施しており一定の効果がある」に修正することも含め検討する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 現行計画 59 頁に記載されている平成 26 年度から平成 29 年度の事業評価の基準は、進捗しているかどうか評価基準となっている。資料 4 「評価基準」では、「A」「B」「C」では効果があるかどうかの記載があるが、「D」では効果に関する記載がない。事業効果を基準とするなら「D＝実施していない・効果がない」と記載すべきではないか。

(1) 狛江市商業振興プランの検証について	
発言者	会議内容
委員 副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効果を基準に入れることは賛成である。 ・「現状維持」という文言については、削除した方が良いと思う。 ・「D＝実施していない」事業については、実施しなければならないが実施できなかったのか、途中で実施する必要がないと判断したのか等、分かれると思う。実施する必要がない事業は「D」評価とする、といった条件を設定しておかないと、実施する必要はあるが実施できなかった事業と区別がつかないのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・計画期間中に必要がないと判断し、事業や取組を中止したものはない。 ・資料4「評価基準」の「D」の表記方法については、「D＝実施していない」から「D＝実施していない・効果がない」に修正した方が良いか、委員の方々の意見を伺いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料4「所見・理由／課題」を見ると、実施していない事業はないと思うので、「D＝実施しているが効果がない」にしてはどうか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局において、各事業での「何をどう実施したのか」について精査し、事業評価の再検討をお願いしたい。各委員においては、本日の議論をふまえ資料7「現行プランの事業評価及び消費者アンケート調査項目に関するご意見用紙」に意見を記載し、提出をお願いしたい。
(2) 消費者アンケートの内容検討について	
発言者	会議内容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料説明：【資料6】現行計画時の消費者アンケート調査項目 ◆資料説明：【資料6】（参考資料）他計画における商業振興に関係する調査項目について
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・現行計画策定時の消費者アンケート調査項目は、商工会や消費者の方々の意見も踏まえ、それなりの理由で設問設定をしていた。現行計画策定時のアンケート調査設問を削除して良いのか、再度、検討が必要である。 ・消費者アンケート調査項目（案）についても、各委員においては初見であるため、資料6「現行計画時の消費者アンケート調査項目」に関する意見があれば、後日、資料7「現行プランの事業評価及び消費者アンケート調査項目に関するご意見用紙」に記載し提出いただきたい。なお、現時点において、資料6に関する意見や質問はあるか。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者アンケート調査の対象者の抽出方法について、年齢・居住地の人口構成比に合わせて無作為に抽出する方法は良いと思う。しかし、現行計画策定時の消費者アンケート結果を見ると、回答者は高齢者が多い結果となっている。今回の消費者アンケート調査では、これから狛江市に住んでいただきたい年齢層の意見を取るようにしてはどうか。人口構成比に合わせた無作為抽出ではなく、意図的にウエイトをかけても良いのではないか。

(2) 消費者アンケートの内容検討について	
発言者	会議内容
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、高齢化が進むことは必然なので、商業振興における高齢者対応は必要ではあるが、一方で高齢者は消費額が少ないので地域への経済効果は少ないと思われる。今後の商業振興を考えていくにあたっては、消費をしてくれる人たちに応えていく施策を検討する必要がある。 ・ 高齢者のためのまちづくりを実施すると子どもは来ないが、子どものためのまちづくりをすると高齢者は来ることができる。 ・ 上記を踏まえて、消費者アンケート調査対象者については、再度、検討していただきたい。 ・ 現行計画策定時の消費者アンケート調査は、設問数が多いと感じてる。また、設問数と有効回答率は相関関係にあると思う。しかし、資料6「4. 他自治体の商業振興に係る消費者アンケート調査の回答率」を見ると、消費者の行政や商業振興への期待度等も有効回答率に関係していると思うので、単に設問数だけが有効回答率に影響しているわけではない。 ・ 現行計画策定時では、消費者アンケート調査項目を検討するにあたり、「1ヶ月当たりの平均支出額」や「5年間の暮らしの見込み」等、消費者のライフスタイルを問うことに留意した。 ・ 現行計画策定時では、「世帯収入が上がる見込みがある層（又は下がる見込みがある層）の消費傾向は、どうなっているのか」、「●●に●●円支出している人は、どのような属性なのか」等を把握することで、今後、市や商店街にどのような形態の店を誘致すれば良いか等、施策や事業に結びつく設問を検討していた。 ・ 目の前の現象だけを把握するのではなく、今後の商業振興施策に結びつく「消費者のライフスタイル」や「属性の違いによる消費行動」を把握し、「今後はこのような属性の人たちが増えるような施策を実施しよう」、「お店の誘致にはこの点に着目していこう」という意図で設定していた。 ・ 「【資料6】現行計画時の消費者アンケート調査項目」において、今回項目が「×」となっている設問は、上記の意図により設定した設問である。 ・ 「【資料6】現行計画時の消費者アンケート調査項目」において、今回項目が「○」となった設問は、オーソドックスな内容である。狛江市の特徴を捉えるため、消費者のライフスタイルに関する設問も必要である。 ・ 「【資料6】現行計画時の消費者アンケート調査項目」において、「他計画での調査でカバーできる」旨の記載があるが、他計画の調査では調査対象者が異なるため、クロス集計はできないのではないかと。 ・ 設問数を減らすことは、大賛成である。但し、他自治体で実施したアンケート設問数と今回の設問数を比較し、アンケート調査項目を検討することは、判断を誤る可能性があると思う。 ・ 資料6「問6-1か6-9」「問18-1から18-3」「問19-1か19-2」は、狛江市独自の傾向を把握する重要項目だと思う。他自治体で実施されたアンケート調査においても、それぞれの自治体ならではの設問が設定されている
委員	

(2) 消費者アンケートの内容検討について	
発言者	会議内容
委員	<p>と思うので、「問 6、問 18、問 19」は、再度、検討していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行計画策定時の消費者アンケート調査集計結果について、現行計画 27 頁から 38 頁に集計結果の概要が記載されているが、全ての結果が記載された資料はあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行計画策定時の消費者アンケート調査集計結果については、現行計画策定時の第 4 回委員会資料として「基礎調査報告書」を提示していた。後日、各委員に「基礎調査報告書」のデータをお送りする。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症拡大以降の買い物動向の変化や商業振興に係るデジタル化といった観点から、現時点において、狛江市民の在宅ワーク人数の推移がわかるデータはあるのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅ワークの推移であれば、小田急電鉄「狛江駅」の乗客数を調べればどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の在宅ワークの人口推移については、消費者及び商業者アンケート調査や「狛江駅」の乗客数等の調査で把握できるか検討する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の時期では、日中、地域に人が滞在していたため、地域のドラッグストア・スーパー・コンビニエンスストアの売上が伸びたと聞いている。新型コロナウイルス感染症拡大の時期と比較して、現在の日中における地域滞在人口を把握してはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の消費者アンケート調査では、「地元で買いたいもの」「地元になければならないもの」「地元で買わないもの・地元で購入することは期待していないもの」が際立つ設問項目としていただきたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「【資料 6】現行計画時の消費者アンケート調査項目」については、各委員においては資料をご確認いただき、意見があれば、「【資料 7】現行プランの事業評価及び消費者アンケート調査項目に関するご意見用紙」記載して、7 月 17 日までに提出をお願いしたい。

(3) 今後の進め方について	
発言者	会議内容
事務局 委員	<p>◆説明：今後の委員会の進め方について = 質問なし =</p>

(4) その他	
発言者	会議内容
委員	<p>= 特になし =</p> <p style="text-align: right;">以上</p>